



学校だより

えぞふじ

令和7年12月1日(月)
喜茂別町立
喜茂別小学校
第 9 号

2025
DECEMBER
12

『インフルエンザに、ヒグマに、応援大使に・・・ 本物の学びを目指して』

校長 古 館 昭 仁

11月になり、思ったよりも積雪は増えず、最終週でも積雪0センチメートルです。根雪になるのはもう少し先でしょうか？2025年も残すところあと1ヶ月となりました。学校では、2学期に学習すべきことはしっかりと修められるように、どの学級も計画的に進めています。



さて、今月は2025年を象徴するような全国的なニュースにもなっていることが、この喜茂別小学校にも訪れた月でした。1つ目はインフルエンザです。今年は例年と比べて流行が早いと報道されていました。喜茂別小学校でも、1学年が学年閉鎖することになりました。ワクチンを接種したばかりでも、インフルエンザにかかってしまうなど、いつもより早いペースのようです。近隣の学校では、学校閉鎖をしているところがあると聞き、改めて①正しい手洗い、②人混みをさける(マスクの着用)、③適度な換気、④生活習慣の見直し(栄養・睡眠・運動)など、基本的な感染症対策をしっかりするよう心がけさせていきます。

2つ目は、ヒグマです。北海道のヒグマの捕獲状況はこれまで963頭(10月末現在)です。ここ数年1000頭以上を捕獲しています。喜茂別にも9日(日)に小学校近くで目撃されたヒグマの対応として、3日間の保護者送迎をお願いしたところです。保護者の皆様のご理解とご協力と、役場や猟友会、教育委員会の見回り、見守り、送迎など素早く積極的な対応のおかげで、無事に学校生活を送ることができています。ありがとうございます。その後のクマの痕跡などの目撃情報もあります。こまめに情報提供を行い、安心安全を第一に対応していきます。学校ではこの間「1日防災学校」や「避難訓練」などを行い、いつも以上に緊迫感をもって学び、備えております。

3つ目は、ファイターズ応援大使の学校訪問です。今年、パリーグ2位と最後まで優勝(CS)争いをしてきた北海道日本ハムファイターズ。今年度、後志管内が応援大使に選ばれたことが縁で、20日(木)に#24金村尚真投手と#67山本拓実投手が訪問して下さいました。25、26歳と若く1軍で大活躍した投手であり、間近で見る本物の野球選手に興味津々の様子でした。子どもたちの質問に一人ずつ答えてくれる真摯な姿、時に優しく、時に手応えのあるスピードで、その子に合わせたキャッチボール(時間があっても2回ほどできました)、デモンストレーションとして、本気の投球を見せてくれました。「本物を知る、見る」機会は子どもたちにとってとても貴重な時間だったようです。「もう終わっちゃうの」と言うほど、あっという間の1時間だったようでした。

このように、11月は、子どもたちにとって、自分事としてとらえ、考えることが多い月だったと思います。日常の学習でも今学習していることが「何と繋がっているか」「どう役立てていけばいいのか」を常に考える必要があります。そういった意味において、学びの多い11月でした。これからも、子どもたちにとっての「本物の学び」に繋がるよう、学校全体で努めて参ります。

本年度の重点目標

主体的・対話的に学ぶ力の育成 ～意欲溢れる優しい子～

大自然に囲まれた学び舎にふさわしい「きもべつの子」を共に育てましょう！



IVENT

北海道応援大使プロジェクト ～日本ハムFIGHTERS～

11月20日（木）に、北海道応援大使プロジェクトで、日本ハムファイターズの金村選手と山本選手が喜茂別小学校に来て下さいました。このイベントを楽しみにしていたが多く、選手が入場すると体育館は熱気に包まれました。

子ども達からの質問に一つ一つ丁寧に答えてくださり、その後は全校児童一人一人とキャッチボールをしていただきました。「もう1回やりたい！」とアンコールの声もかかっていた。その後、選手の見事なキャッチボールを見せてもらうと、目を丸くして「すごい！」「カッコいい！」「速い！」と驚きの声が体育館に響きました。選手の姿から、子ども達は様々なことを感じたようで、あっという間の1時間でした。



北海道応援大使
プロジェクト 2025



DISASTER DRILL

1日防災学校

今年度の1日防災学校は、陸上自衛隊倶知安駐屯地の方々を講師にお招きし、様々な災害に対応するための方法を実際にやってみながら学びました。

火事・地震・雷・原子力・熊など、日頃あまり意識していないことを考える機会となりました。この訓練を使う日が来ないことが一番ですが、災害は突然やってくるものです。何度も練習しているからこそ、いざというときにも思い出せたり、すぐに行動できたりすることにつながります。自分の命を自分で判断して自分で守れることがなによりも大切です。ご家庭でも、災害時の対応やもしもの時の集合場所など話合ってみて下さい。



READING WEEK

読書週間

子ども達が本に親しめるように、毎年読書週間を設けております。児童会生活図書委員会が、読み聞かせを行ったり、教師による読み聞かせも行いました。本は知識を得ることはもちろん、自分以外の人、物への想像力を広げる力も身に付きます。子ども達がたくさんの本と出会えるよう今後も読書活動を推進していきます。



RED FEATHER COMMUNITY CHEST

赤い羽根共同募金



例年、児童会運営委員会が中心となって、赤い羽根共同募金に取り組んでいます。

26日（水）のお昼休みに、集まった募金を渡しました。地域福祉がより充実し、よりよい町にするために使われます。ご協力ありがとうございました。



BEWARE OF BEARS

ヒグマ出没への対応

ヒグマの出没により、登下校時の送迎などをお願いすることとなりましたが、早速にご対応いただき感謝申し上げます。

保護者の皆様のお力添えがあり、学校の活動を安全に行うことができました。

今後も、ヒグマに関する情報はあんしんメールを通じて随時お伝えします。今しばらく気を緩められない状況ですので、引き続きご協力をお願いいたします。



CLASS 相手も自分も心地よいコミュニケーション

喜茂別町の小中学校でスクールカウンセラーとして活躍している北田先生にお越し頂き、6年生に「相手も自分も心地よいコミュニケーションのとりかた」について授業をしていただきました。コミュニケーションのとり方に正解はないのかもしれませんが、失敗はあると思います。みんなが心地よく過ごせるコミュニケーション力を身に付けることで、豊かな人間関係を広げていけることと思います。

